

皮膚科後期研修カリキュラム

【一般目標】

安全で信頼される診療を提供するために、初期臨床研修を終了した医師が、さらに最新かつ専門的知識・技術を習得し、専門医資格取得のための基礎を作る。

【行動目標】

1. 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医制度の受験資格を満たす。
2. 皮膚科専門医として必要とされる診断・治療能力を修得する。
3. 皮膚科専門医として必要とされる救急能力を修得する
4. 皮膚科専門医として研修医・コ・メディカルを指導する能力を修得する
5. 他科を含め医療チームを構成して診療する能力を修得する

【方略】

1. 外来患者を主治医として担当する。
2. 入院患者を主治医として担当する。
3. カンファランス、病理組織検討会にて臨床・病理組織学的所見を学び、症例提示を行う。
4. 各種の学会、研究会、勉強会に参加して最新の知見と技術を修得する。
5. 学会発表、論文作成を行う。

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金	土
午前	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修
午後	病棟研修 手術	病棟研修 手術	病棟研修 手術	病棟研修 手術	外来研修 病棟研修	
夕刻		大学カンファランス (適宜)		勉強会・カンファランス 病理組織検討会		

【評価方法】

項目	評価者	時期	評価法
経験した手術手技名・症例数	自己、指導医	3ヵ月毎	自己記録
担当疾患・症例数	自己、指導医	3ヵ月毎	自己記録
カンファランスでの症例提示	自己、指導医	毎週	口頭
学会・論文発表・	指導医	毎年	口頭

【具体的達成目標】

1. 手技的事項

1) 卒後3年目

名古屋大学での研修

2) 卒後4年目

皮膚良性腫瘍切除術 100例以上

皮膚悪性腫瘍切除術 10例以上

全層・分層植皮術 5例以上

フェノール法 15例以上

3) 卒後5年目

皮膚良性腫瘍切除術 150例以上

皮膚悪性腫瘍切除術 20例以上

全層・分層植皮術 10例以上

フェノール法 20例以上

2. 学術的事項

1) 卒後3年目

名古屋大学での研修

2) 卒後4年目

学会発表 2回以上

論文発表 2編以上

3) 卒後5年目

学会発表 3回以上

論文発表 3編以上

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医の受験資格（前実績）150単位の獲得